



昭和34年4月18日制定

あさひ

学校便り 5月号
平成28年4月28日
横浜市立旭小学校

「安心」と「つながり」を大切に

学校長 加藤 和之

風薫る5月となりました。新年度が始まって1カ月、明るい陽ざしの中、子どもたちは元気に毎日を過ごしています。先日発生した「平成28年熊本地震」では、多くの方が犠牲になりました。心よりご冥福をお祈りいたします。また、大きな余震が続き、被災された方の避難生活も長期化しています。大変な生活を強いられている方々に思いを寄せるとともに、横浜でも十分起こりうる災害への備えはどうあったらよいかを学校でも再度見直していきたいと考えています。

さて、昨年度末に「旭小はどんなことを大切にして学校づくりを進めていくか。」ということについて、教職員全員で話し合いました。それぞれが考える「よい学校像」を率直に出し合い、熱い話し合いをした結果、学校づくりを進めていく上での「キーワード」が導き出されました。それは、「安心」と「つながり」の2つです。

安心

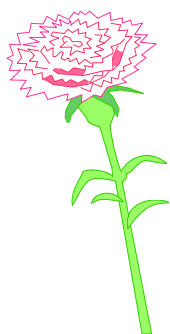
子どもが「安心」できなければ、のびのびと自己を発揮することはできません。そのためにも、課題や困り感のある子どもに、しっかりと寄り添うことで不安を無くすとともに、その子の成長につながるようにしなくてはなりません。子どもが安心して生活できるよう、まず一人ひとりをていねいにみとり、その子の良さや課題をしっかりと把握したいと考えます。そして様々な場面において、担任一人ではなく、学年や児童支援専任、養護教諭など、学校が「チーム」として支援できるような体制を確立させていきたいと考えています。子どもに寄り添い、温かく支える旭小でありたいと考えています。また、保護者の皆様の「安心」について考えた時、まずもって児童の安全を守ることが大前提になります。防犯、防災、環境整備の面などにおいて、危機管理の視点から学校の体制や環境を整えていきたいと考えます。そして保護者の皆様にとっても、安心して通わせることのできる旭小でありたいと思います。

つながり

子どもがたくさん「人」と出会うことで、一人ではできない「豊かな学び」が期待できます。例えば授業の場面では、先生との1対1のやり取りだけで学習が進むのではなく、子ども同士で話し合ったり表現し合ったりする場面を多くすることで、子どもは新たな見方・考え方にふれることができます。互いに学び合うことで、それぞれの良さに気付くとともに、自らの思いや考えを確かなものにすることができます。このように、子ども同士が「つながり」学習を目指したいと考えます。また、幅広い年齢層の子どもが在籍するのが小学校です。「たてわり」の「あさひタイム」などで、異学年の子ども同士が今まで以上に深くかかわることで、他を思いやる優しさや規範意識を醸成することができます。今年度は、運動会でも「たてわり」を重視した内容を計画しているところです。異学年同士が「つながり」学校を目指したいと考えています。

今年度、このように「安心」と「つながり」を大切にしながら教育活動を進めていくことで、「あかるく さわやか ひとみきらきら あさひっ子」の学校教育目標のもと、「子どもが、自分の思いや願いが実現できる学校づくり」を進めていきたいと考えています。

5月の取組目標



生活目標

友だちとなかよく遊ぼう

保健目標

外で元気に運動しよう

清掃目標

教室の床や廊下をきれいにしよう

給食目標

食事のマナーを身につけよう